

## 2 樹木

### さくら

農薬取締法上、「さくら」は観賞用など食用以外の樹木を指す。

さくらんぼは、「おうとう」「核果類」および「果樹類」に適用のある農薬を使用すること。  
葉を食用にする場合は、「食用さくら(葉)」および「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

————— 発病・加害時期  
===== 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マイマイガ				=====								
モンクローシヤチホコ								=====				
アメリカシロヒトリ				=====								
クビアカツヤカミキリ						成虫羽化						
				=====		幼虫活動期・フラス排出(樹食害)						

### てんぐ巣病

#### 防除方法

- 罹病した枝は切除する。
- 切除後、傷口に下記の薬剤を塗布する。
  - ・ [トップジンMペースト](#) 1 【原液 病枝切除後／5回】

### マイマイガ

#### 留意事項

- 極めて雑食性である。
- 若齢幼虫期に防除を行う。
- 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのないよう、周知や使用方法について十分に配慮する。

#### 防除方法

- 木の幹についた卵を冬期に取り除く。
- 発生初期に下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A  
【樹木類(除つつじ類、つばき類) ケムシ類 2000倍 発生初期／5回】
  - ・ [アクセルフロアブル](#) 2 2 B 【ケムシ類 1000~4000倍 発生初期／6回】
  - ・ [フェニックスフロアブル](#) 2 8 【ケムシ類 4000倍 発生初期／2回】
  - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5 【樹木類 ケムシ類 5000倍 発生初期／2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [スミパイン乳剤](#) 1 B 【樹木類 1000～1500倍 若齢・中齢幼虫期／6回】
- ・ [ゼンターリ顆粒水和剤](#) 1 1 A 【樹木類 ケムシ類 1000倍 発生初期／－】

## モンクロシャチホコ

### 留意事項

- 1 若齢幼虫期は、幼虫が集団化しており防除効果が高い。
- 2 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのない十分に配慮する。

### 防除方法

- 1 幼虫が集団でいる巣を早めに枝葉ごと切り取って処分する。
- 2 発生初期に下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A  
【樹木類(除つつじ類、つばき類) ケムシ類 2000倍 発生初期／5回】
  - ・ [ジェイエース水溶剤](#) 1 B 【1000～1500倍 発生初期／5回】
  - ・ [バシレックス水和剤](#) 1 1 A 【1000倍 発生初期／－】

## アメリカシロヒトリ

### 留意事項

- 1 極めて雑食性である。
- 2 若齢幼虫期は、幼虫が集団化しており防除効果が高い。
- 3 スミチオン乳剤は、あぶらな科作物、さといも、ひのきには薬害が発生するので、さくらの周辺にこれらの植物がある場合は、飛散を受けないようにする。
- 4 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのないよう、周知や使用方法について十分に配慮する。
- 5 マツグリーン液剤、マツグリーン液剤2、モスピラン顆粒水溶剤は同一成分アセタミプリドを含むため、総使用回数は合計5回以内（樹幹注入は1回以内）。

### 防除方法

- 1 幼虫が集団でいる巣を早めに枝葉ごと切り取って処分する。
- 2 発生直前に、下記の薬剤を樹幹に打ち込む。
  - ・ [オルトランカプセル](#) 1 B  
【樹木類(除プラタナス、くろまつ、あかまつ、アカギ) ケムシ類  
幹周囲10cm毎に1個 発生期直前／2回】
- 3 発生を認めたら、下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スミチオン乳剤](#) 1 B 【樹木類 500～1000倍 －／6回】
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A  
【樹木類(除つつじ類、つばき類) ケムシ類 2000倍 発生初期／5回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [アクセルフロアブル](#) 2 2 B 【ケムシ類 1000～4000倍 発生初期／6回】
- ・ [ノーモルト乳剤](#) 1 5 【20000～30000倍 —／2回】
- ・ [マツグリーン液剤 劇](#) 4 A 【2500倍 発生初期／5回】
- ・ [バシレックス水和剤](#) 1 1 A 【1000～2000倍 発生初期／—】

## クビアカツヤカミキリ

### 留意事項

- 1 幼虫は樹木内部を食い荒らし、枯死させる。食害は5～6月に最も盛んになる。
- 2 成虫は6～8月頃に出現し、幹や樹皮の割れ目に産卵し、10日前後で卵が孵化する。
- 3 幼虫の食入した穴から出るフラス(かみ砕いた木くず・糞・樹脂の混合物)は、うどん状でこのフラスがある穴には幼虫がいる可能性が高い。フラスは4月～10月頃発見できる。フラス排出部位は、地表に現れた太い根から大人の身長までが多いが、3m以上の高い場所の場合もある。
- 4 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのないよう、周知や使用方法について十分に配慮する。
- 5 マツグリーン液剤、マツグリーン液剤2、モスピラン顆粒水溶剤は同一成分アセタミプリドを含むため、総使用回数は合計5回以内(樹幹注入は1回以内)。
- 6 アクセルフロアブルの使用回数は合計6回以内。

### 防除方法

- 1 成虫は見つけ次第、捕殺する(5月中旬～8月)。
- 2 株元から高さ約2mまで4mm目ネットを樹にゆったりと二重に巻き付け、羽化した成虫を閉じ込める。ネットをかみ切ったり隙間から脱出する場合もあるので、ネット設置後も見回り撲殺する。
- 3 うどん状フラスを見つけたら、フラスが出ている穴に千枚通しや針金等を入れ、フラスをかき出してから下記の薬剤を注入する。
  - ・ [ロビンフード](#)、[ベニカカミキリムシエアゾール](#) 3 A  
【樹木類 樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 成虫発生初期／6回】
  - ・ [園芸用キンチョールE](#) 3 A  
【食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射 —／—】
  - ・ [アクセルフロアブル](#) 2 2 B  
【100倍 木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入 —／6回】
  - ・ [マツグリーン液剤2](#) 4 A 【50倍 食入孔に注入 発生初期／5回】
- 4 下記の薬剤を樹幹注入する。いずれも処理液量はラベルの記載どおりに行うこと。
  - ・ [ウッドスター](#) 4 A 【新葉展開後～落葉前まで／3回】
  - ・ [アトラック液剤](#) 4 A 【幼虫発生前～幼虫発生期／3回】
- 5 成虫発生期に下記の薬剤を散布する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ **マツグリーン液剤2** 4 A  
【20倍 樹幹散布 成虫発生初期／5回】  
【200倍 成虫発生初期／5回】
  - ・ **アクセルフロアブル** 2 2 B  
【200倍 主幹から株元に散布 成虫発生直前～成虫発生期／6回】  
【1000倍 成虫発生直前～成虫発生期／6回】
  - ・ **モスピラン顆粒水溶剤 劇** 4 A 【2000倍 発生初期／5回】
- 6 被害の大きい樹や枝は、9月～翌年3月の間に破碎や焼却等、適切に処分する。

---

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。